

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況

(平成17年4月～9月)

平成17年12月

 富山信用金庫

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況【目次】

. 進捗状況の公表にあたって	1ページ
. 目標とする計数の達成状況	2ページ
. 大項目ごとの進捗状況	3ページ
. 個別の項目ごとの進捗状況	4～7ページ

進捗状況の公表にあたって

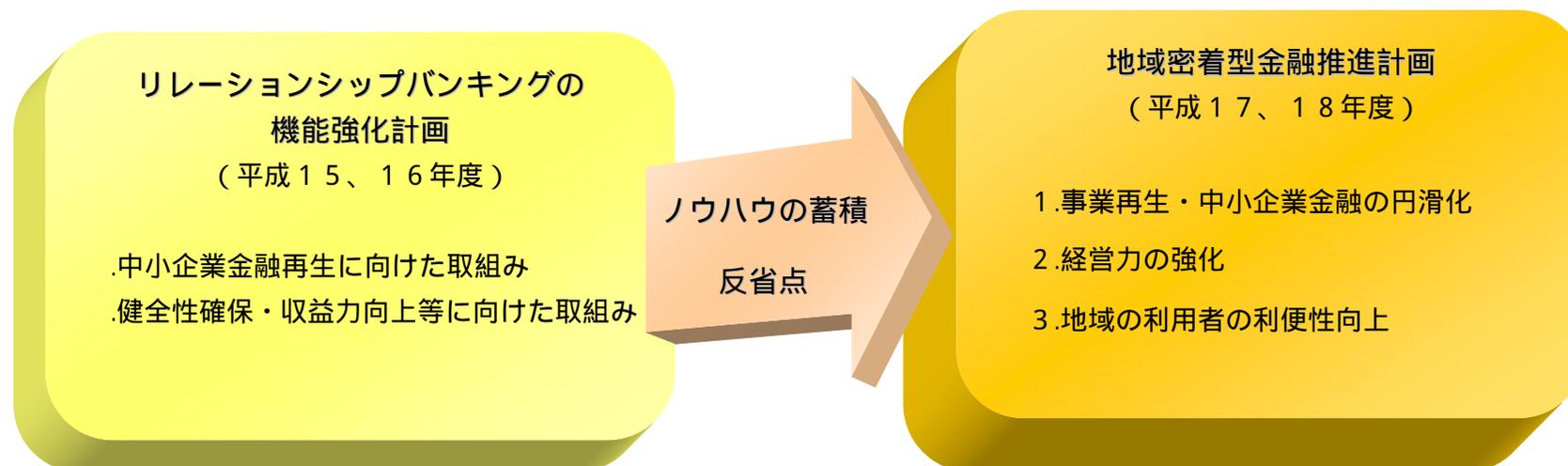
平成17年8月に策定・公表いたしました「地域密着型金融推進計画」の17年9月までの進捗状況について公表いたします。

本計画は、平成17年3月29日に金融庁より公表された「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム(平成17年～18年度)」に基づき策定し、その進捗状況については半期ごとに公表するものです。

計画の各取組施策につきましては、平成15、16年度を集中改善期間とした「リレーションシップバンキングの機能強化計画」における取組みの深度を高め、より実効性を目指すもの、また全く新しい取組みにより成果を目指すものがあります。

平成17年度上期におきましては、各々の施策について機能強化計画におけるノウハウの蓄積や反省点を踏まえるとともに、体制を強化し取組みました結果、後述のとおり、概ね計画通りの進捗となっております。

10月以降も地域に密着した長期間にわたる取引関係に基づく金融取引を強化し、中小企業の再生と地域経済の活性化に資するべく、富山信用金庫全組織を上げ本計画を遂行してまいります。



・目標とする計数の達成状況

項 目	目 標 計 数	17年9月までの達成状況	
コア業務純益(18年度)	7億円	-	-
自己資本比率	17%台	17.26%程度	17年9月期仮決算実績
不良債権比率	6%台	6.67%	17年9月末実績
介護、老健等を担当する審査担当者の配置	1名	-	17年11月に配置予定
サクセスクラブ会員数	300先	300先	4月よりの会員増強により9月末に達成しました
経営改善支援取組み先(17年度)	60先	60先	17年8月に取組み先を選定しました
経営相談担当の増員	1名	-	17年11月に配置予定
スコアリングモデルを活用した融資商品	60先 200百万円	18先 68百万円	17年4月より9月までの融資実績 進捗率30.0%(先数)
とみしんCLOの取組み	30先 300百万円	14先	17年12月の実行に向け7月より取組み開始 進捗率46.6%(先数)
財務諸表の精度が相対的に高い中小企業 に対する融資商品	60先 300百万円	25先 206百万円	17年4月より9月までの融資実績 進捗率41.6%(先数)

上記目標は17年4月から19年3月までの目標です。

大項目ごとの進捗状況

1. 事業再生中小企業金融の円滑化

- ・ランクアップ対象先への支援強化を図るため、店舗長を「経営改善支援責任者」に任命し、本部に「経営改善支援検討委員会」を設け、金庫全体的な取組みとしてランクアップに努めております。
- ・担保、保証に過度に依存しない融資に対しては成果が上がっているものの、創業、新事業向け融資の商品化が必要と認識しております。
- ・中小企業の資金調達手法の多様化等への取組みが必要と考え、中小企業金融公庫のスキームを活用したCLO(ローン担保証券)に積極的に取り組んでおります。
- ・信用リスクデータの蓄積及び信用リスクに応じた金利設定のための内部基準の整備が必要であり、早急に企業信用格付マニュアルを制定する必要があると認識しております。
- ・店舗長、融資担当役席者を対象に外部研修受講者による目利き力養成研修会を実施しましたが、外部講師を招いて研修会を開催することも必要であると認識しております。

2. 経営力の強化

- ・常勤理事、各部室長出席のもとリスク管理・コンプライアンス研修会を開催し、リスク管理チェック表の各リスク管理部署における管理状況の検証を行いました。
- ・全従業員に対し「コンプライアンスチェックリスト」によるセルフチェックを行い、実態を把握し、必要に応じコンプライアンス指導を実施して法令遵守の意識の高揚に努めております。
- ・信金中央金庫による市場業務研修や経営相談制度等を積極的に利用するなど連携を強化しております。

3. 地域の利用者の利便性向上

- ・ディスクロージャー誌、ホームページへ地域貢献等に関する事項を掲載しました。
- ・営業店窓口等で受け付けた苦情につき、毎月傾向分析表を作成、全部室店に還元し、業務運営に反映しております。

個別の項目ごとの進捗状況

	検討内容・実施時期等		進捗状況
	17年度内	18年度内	17年4月～9月
1. 事業再生・中小企業金融の円滑化			
(1) 創業・新事業支援機能等の強化	・「目利き力養成」のための取引先企業にて実地研修の実施(17年7月実施、18年度以降も継続)		・目利き力養成のため店舗長対象に取引先企業の工場見学を実施しました。(17年7月) ・創業・新事業支援融資を8先35,000千円実行しました。(17年9月末)
	・公的機関との業務連携、協力の取組み(17年10月を目的)		
	・公的金融機関との連携、協調融資の強化(18年度以降も継続)		
(2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化	・創業・新事業に対する商品開発の取組み(17年9月を目的)		・経営相談会を6店舗で開催。31件の相談がありました。(17年9月) ・とみしんサクセスクラブ経営セミナーを開催し、50名余りの参加がありました。(17年9月) ・とみしんサクセスクラブの会員数は300事業所になりました。(17年9月末) ・経営改善支援の取組み先を60先選定してランクアップへの取組みを開始しました。(17年8月) ・店舗長を「経営改善支援責任者」とし、本部に「経営改善支援検討委員会」を設置して金庫全体的な取組み体制を構築しました。(17年9月)
	・富山商工会議所シニアアドバイザーセンターと連携して経営相談会の開催(17年9月実施、18年度以降も継続)		
	・ビジネスマッチング支援策として情報提供機能、「とみしんサクセスクラブ」の一層の強化(18年度以降も継続)		
	・営業店と連携し、要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化(18年度以降も継続)		
	・職員の中小企業支援スキル向上を目的として製造業等の取引先に派遣(17年10月を目的)		
(3) 事業再生に向けた積極的取組み	・要注意先債権等の健全化等の強化に関する実績の公表及び公表内容の拡充(18年度以降も継続)		・富山県中小企業再生支援協議会に月1～2回訪問して情報交換を行っています。 ・富山商工会議所主催、富山県新世紀産業機構共催のセミナーに経営相談担当1名参加しました。(17年5月)
	・富山県中小企業再生支援協議会の積極的な活用(18年度以降も継続)		
	・富山県新世紀産業機構(相談業務、専門家の派遣他)の積極的な活用(18年度以降も継続)		
	・ブリパッケージ型事業再生、私的整理ガイドライン、「デット・エクイティ・スワップ」(DES)及び「デット・デット・スワップ」(DDS)、企業再生ファンド等を活用した企業再生支援事案への積極的な取組み(18年度以降も継続)		
	・再生支援実績があれば事例についての情報を開示(18年度以降も継続)		

	検討内容・実施時期等		進捗状況
	17年度内	18年度内	17年4月～9月
(4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等	<ul style="list-style-type: none"> ・財務制限条項を活用した商品(シンジケートローン)の積極的な取組み(18年度以降も継続) ・スコアリングモデルを活用した商品「とみしんアシスト」「商工会議所メンバーズ融資」「商工会メンバーズローン」等の積極的な取組み(18年度以降も継続) <ul style="list-style-type: none"> * 目標(2年間) 60先200百万円 (17年度30先100百万円、18年度30先100百万円) ・証券化「とみしんCLO」の積極的な取組み(17年12月) <ul style="list-style-type: none"> * 目標 30先300百万円 ・財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対する融資商品「とみしんTKC経営者ローン」「とみしん税理士会ローン」等の取組み(18年度以降も継続) <ul style="list-style-type: none"> * 目標(2年間) 60先300百万円 (17年度30先150百万円、18年度30先150百万円) 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンジケートローンを1先100百万円実行しました。 ・商工会議所メンバーズ融資を創設しました。(17年7月) ・とみしん商工会メンバーズローンを創設しました。(17年8月) ・スコアリングモデルを活用した商品(とみしんアシスト、商工会議所メンバーズ融資、とみしん商工会メンバーズローン)の取組み実績は18件68百万円でした。(17年9月末) ・17年12月実行予定の「とみしんCLO」の参加先数は9月末現在14先です。 ・財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対する融資商品(とみしんTKC経営者ローン、とみしん税理士会経営者ローン)の取組み実績は25先206百万円でした。(17年9月末) 	
(5) 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・約定書を改訂(今年度中を目途に)するとともに、顧客への説明態勢の整備については、研修会開催及び内部検査による点検の実施(18年度以降も継続) ・相談苦情処理機能の強化においては苦情処理フィードバック等による機能強化(18年度以降も継続) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「与信取引に関する顧客への説明態勢に係る規定」に係る庫内説明会を実施しました。(17年4月) ・「与信取引に関する顧客への説明態勢に係る規定」に基づく対応がなされているかを検査部臨店検査時に検証しています。 ・苦情処理に係るフィードバック資料については、毎月の傾向分析表の全部室店への還元を行っており、加えて、17年度上半期分の集計表及び概要等を10月のコンプライアンス委員会・常勤理事会に報告し、傾向把握、対応策立案等相談苦情処理機能を強化します。 	
(6) 人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・事業再生・中小企業金融の円滑化に向けた人材の育成(17年7月実地研修、18年度以降も継続) 	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸地区信用金庫協会主催の研修(企業ランクアップ講座)に店舗長4名が参加しました。(17年5月、6月) ・全国信用金庫協会主催の研修(目利き力養成ステップアップ講座-計数活用編)に経営相談担当1名が参加しました。(17年6月) ・目利き力養成のため、店舗長を対象に最新の印刷技術を備えた印刷工場の見学を実施しました。(17年7月) ・目利き力養成のため、店舗長、融資担当役席者を対象に外部研修受講者による復講を実施しました。(17年9月) 	
2. 経営力の強化			
(1) リスク管理態勢の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクの計量化手法等の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己資本比率の算出方法の精緻化、情報開示に向けた対応 ・リスクの計量化手法等の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・全部室長、常勤理事出席のリスク管理、コンプライアンス研修会を開催し、金融検査マニュアルに準じたリスク管理チェック表の各リスク管理部署によるセルフチェックの検証を行いました。(17年8月) ・信金中央金庫主催の市場業務研修に1名参加しました。

	検討内容・実施時期等		進捗状況
	17年度内	18年度内	17年4月～9月
(2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 信用リスクデータベースの整備・充実(18年度以降も継続) 管理会計制度充実の検討(18年度以降も継続) 		<ul style="list-style-type: none"> 企業信用格付マニュアルを制定しました。(17年9月)
(3) ガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> 半期開示の継続的実施(18年度以降も継続) 総代の定年制・重任制限についての検討(18年度以降も継続) 		<ul style="list-style-type: none"> 一般会員の意見を反映させる仕組みとして、「金庫への意見・要望報告書」を作成し、会員からの意見・要望を取入れた実績を総代会にて報告しました。(17年6月)
(4) 法令遵守態勢の強化	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンスチェックリストによるセルフチェック、実態把握、コンプライアンス指導等による点検強化(18年度以降も継続) 個人情報保護監査規定等に基づき内部検査を実施(18年度以降も継続) 		<ul style="list-style-type: none"> 「コンプライアンスチェックリスト(心がまえ)」によるセルフチェックを全従業員に対し行い、経営監理部における計数の集計および実態把握、経営陣等への報告、必要に応じコンプライアンス指導実施を行いました。(17年5月) 全部室長・常勤理事出席のリスク管理・コンプライアンス研修会を開催し、外部講師を招いてのコンプライアンス研修を行いました。(17年8月) 顧客情報の適切な管理・取扱い及び個人情報保護法対応については、「個人情報保護法対応委員会」にて討議・決定された事項につき、担当部等より通達・研修会開催等により周知徹底を図り、毎月の部室店内点検に加えて検査部による臨店検査(個人情報保護監査)を行っております。
(5) ITの戦略的活用	<ul style="list-style-type: none"> 中長期のIT戦略の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 次期システム対応の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 中長期IT戦略策定のための情報収集を図り、機器・システムの展示会、説明会に参加しました。
(6) 協同組織中央機関の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> 信金中央金庫の提供する経営相談機能の活用(18年度以降も継続) 		<ul style="list-style-type: none"> 信金中央金庫主催の市場業務研修に1名参加しました。(17年7月) 常勤役員が出席し信金中央金庫による「決算効率分析表」に基づく経営相談制度を利用しました。(17年8月) 余裕資金運用力強化を図り、SCB延長特約付定期預金を預け入れました。(17年8月)
3. 地域の利用者の利便性向上			
(1) 地域貢献等に関する情報開示	<ul style="list-style-type: none"> ディスクロージャー誌、ホームページによる地域貢献等にかかる情報開示 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクロージャー誌、ホームページによる地域貢献等にかかる情報開示 利用者からの質問や相談のうち頻度の高いものについての回答事例の掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクロージャー誌、ホームページに「富山信用金庫と地域社会」と題し、地域貢献等に関する事項を掲載しました。(17年6月)

	検討内容・実施時期等		進捗状況
	17年度内	18年度内	17年4月～9月
(2) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度アンケート調査の実施 ・アンケート結果及び相談苦情等を踏まえた改善策の検討と業務運営への反映 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度アンケート調査の実施 ・アンケート結果及び相談苦情等を踏まえた改善策の検討と業務運営への反映 ・利用者の声を生かして経営、業務改善を行った事項についての公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス委員会において、毎月の苦情につき討議し、毎月、傾向分析表を全部室店に還元しています。 ・下期実施予定のアンケート調査について内容等の検討を進めました。
(3) 地域再生推進のための各種施策等との連携等	<ul style="list-style-type: none"> ・信金中央金庫のサポートを受け、PFIの積極的な取組み(18年度以降も継続) ・街再生施策に係る支援等の積極的な取組み(18年度以降も継続) 	<ul style="list-style-type: none"> ・信金中央金庫と連携し、当庫エリア内のPFI案件について情報交換をしています。 ・街再生施策等に積極的に支援しています。 	
4. 進捗状況の公表	<ul style="list-style-type: none"> ・総代会、ホームページ、プレスリリースによる計画進捗状況の公表(18年度以降も継続) 		